

棒茶（炒り茶）の香気成分について

石川県工業試験場 化学食品部
主任技師 笹木哲也

「棒茶（炒り茶）」は茶の茎を焙煎したほうじ茶で、独特の香ばしさが特徴である。棒茶は石川県金沢市が発祥の地とされ、石川県でお茶といえば棒茶、といわれるほど地元で愛飲されている。一方で、県外にはあまり知られておらず、全国的には珍しいお茶である。一般に、ほうじ茶と言えば3、4番茶などの下級茶の茶葉を焙煎したものであり、低品質な印象を受ける。ところが、石川県の棒茶は、1番茶を用いることも多く、一般のほうじ茶に比べ、香り、味ともに豊かである。

棒茶が石川県の文化に根付いたのは、加賀藩が礎を築いた、石川県の茶文化の発展に端を発するものと考えられている。加賀藩の美術、工芸、芸能などの産業、文化を奨励した第三代藩主の前田利常は、裏千家の始祖 千仙叟宗室を金沢に招いて茶道興隆に尽力すると共に、石川県小松市を中心に茶樹植栽を推進した。幕末、明治初期においてお茶の生産量は増加し、明治20年頃には最盛期を迎えた。

「加賀茶業の流れ（米沢喜六 著）」によれば、明治35年頃に金沢市の林屋新兵衛が棒茶を開発し、その後、棒茶は県内に普及した。昭和58年に石川県で行われた植樹祭の際、昭和天皇は加賀市の老舗企業が献上した最高級の棒茶をお気に召され、お持ち帰りされたという逸話も残っている。現在も、県内十数社がそれぞれ独自の方法で棒茶を自家焙煎し、その味を高め合っており、個性的な棒茶文化が形成されている。

棒茶の最大の魅力は香りにある。棒茶は焙煎の芳ばしい香りが豊かで、自然な甘みを併せ持っている。しかしながら、香りが良いとは主観的な表現であるとともに、これまで棒茶についての詳細な研究は行われていなかった。そこで、本研究では、棒茶の香り成分を評価し、棒茶の香りの良さを科学的に証明することを試みた。同時に、おいしさに寄与している味覚成分についても評価した。棒茶の香り成分、味覚成分を科学的に把握することは、棒茶の魅力発信によるブランド力向上に役立つと共に、棒茶のさらなる高品質化に役立つものと考えている。



棒茶(炒り茶)の香気成分について

石川県工業試験場

笹木哲也



棒茶(炒り茶)とは



焙煎の香りが豊か

自然な甘みが豊か

茎を焙煎したほうじ茶

- ・石川県で愛飲されている。
(県外は少ない)
- ・金沢発祥

ふるさと認証食品

ふるさと認証食品とは



ふるさと食品認証マーク

石川県産の農林水産物を主な原材料として製造された加工食品や石川県に古くから伝わる伝統技法を用いて製造された加工食品で、県がその品質や表示について一定基準に適合していることを認証している食品です。



棒茶



茎の部分焙じた棒茶は、金沢が発祥の地とされ、石川県でお茶といえば棒茶、といわれるほど愛用されています。

製造業者	商品名	住所	電話番号
(株)八製茶場	献上加賀棒茶	加賀市動橋町夕1-8	0761-74-1557
(有)中嶋茶舗	加賀棒いり茶、加賀特上棒いり茶、加賀棒いり茶 千代のかおり、加賀棒入り茶 白山のかおり、加賀棒入り茶 万葉のかおり	白山市中町23	076-275-0271
(有)あずま園	加賀棒ほうじ茶、上加賀棒ほうじ茶、特上加賀棒ほうじ茶、特上加賀棒ほうじ茶(抹茶棒入り) 茎の部分焙じた棒茶は、金沢が発祥の地とされ、石川県でお茶といえ	金沢市百坂町1-108	076-258-4000
お茶の村上園	加賀棒ほうじ茶	金沢市武蔵町10-4	076-231-4385
鴻渡園	加賀棒ほうじ茶 番林坊	小松市今江町7-10	0761-22-5213
川岸製茶場	加賀の棒茶、棒ほうじ茶、上棒いり茶	小松市馬場町口35	0761-65-2310

出典:石川県庁ホームページ

11社の認定
(全品目中最多)

歴史



加賀茶業の流れ

著者: 米沢 喜六

製作: (株)北国出版社

発行: 昭和51年8月18日

明治35年ごろ林屋新兵衛が荒茶精撰からの出物の内で茎の使用
方法を研究した。茎のままでは味が薄く出が少ないので焙じて売り出
すことを考えた。これが今日の「**いり茶**」の始まりである。

—「加賀茶業の流れ」抜粋—

金沢発祥

原料

	1番茶	2番茶	3、4番茶
葉	煎茶		ほうじ茶
茎	煎茶(雁が音)		

焙煎

棒茶

(1番茶も珍しくない)

渋みを和らげるため、焙煎する。

棒茶の香り

香りがよい！！

焙煎の香りが豊か

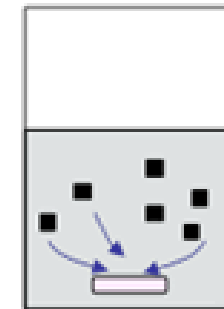
自然な甘みが豊か

と言われても、
よくわからない。

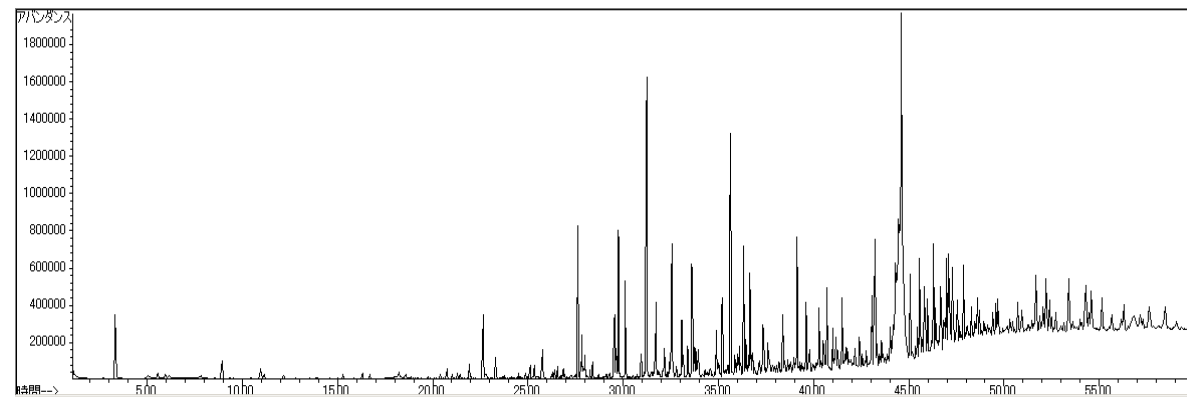
科学的に評価

香り分析装置

フレーバー評価システム

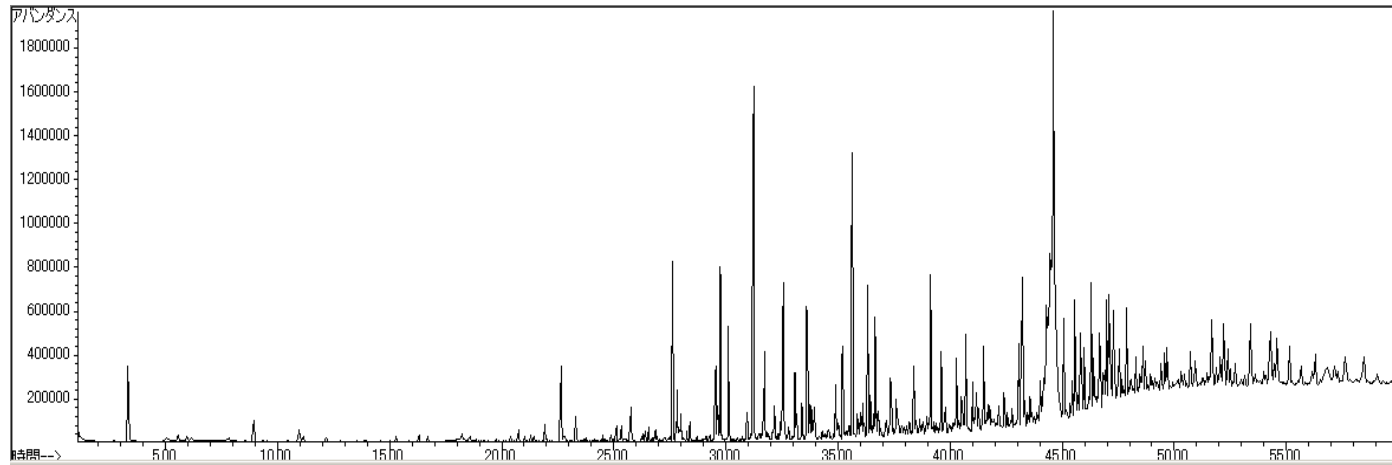


棒茶の分析結果

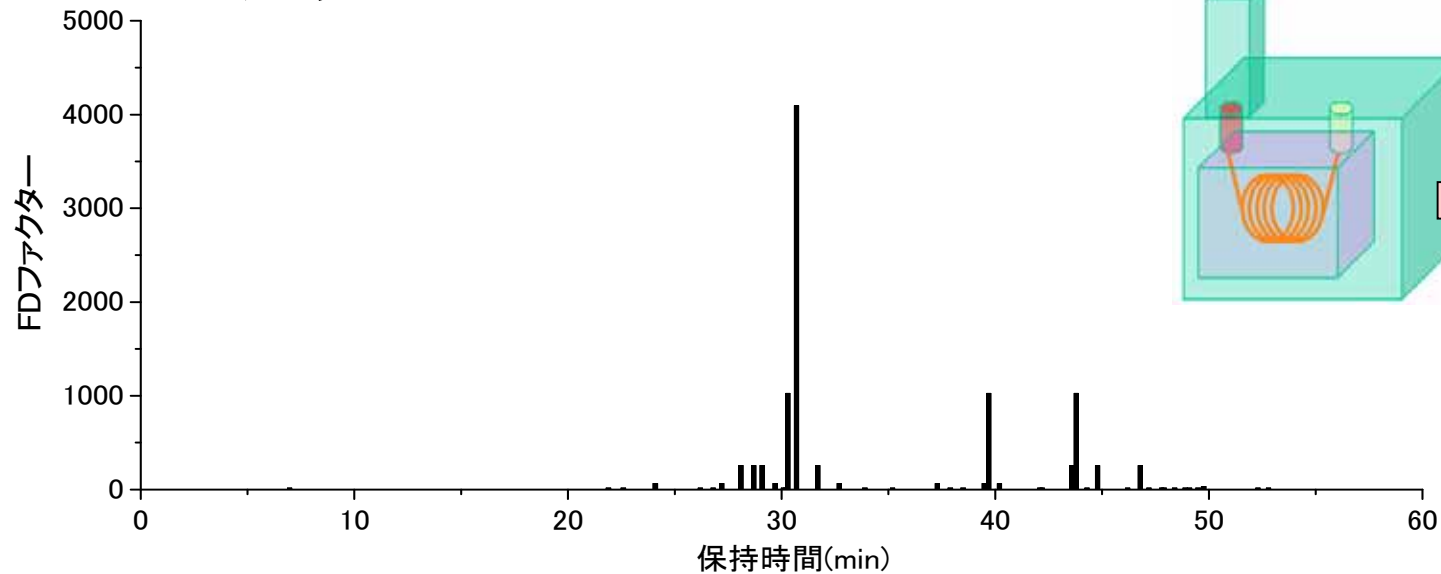


匂い嗅ぎ評価

GC-MSスペクトル



アロマグラム



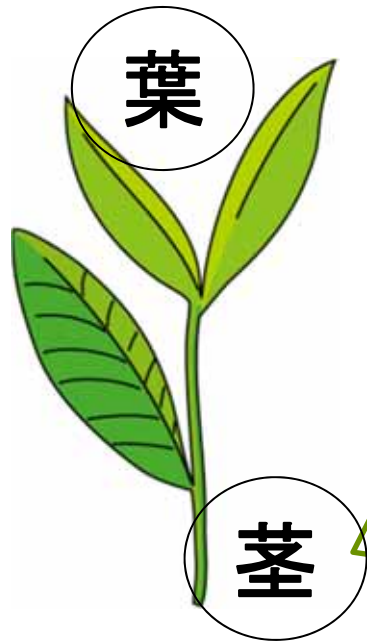
匂い嗅ぎ評価



焙煎の香り成分が主
(ピラジン類)

花などの甘い香り成分も、
多く含まれている。

茎/葉比較

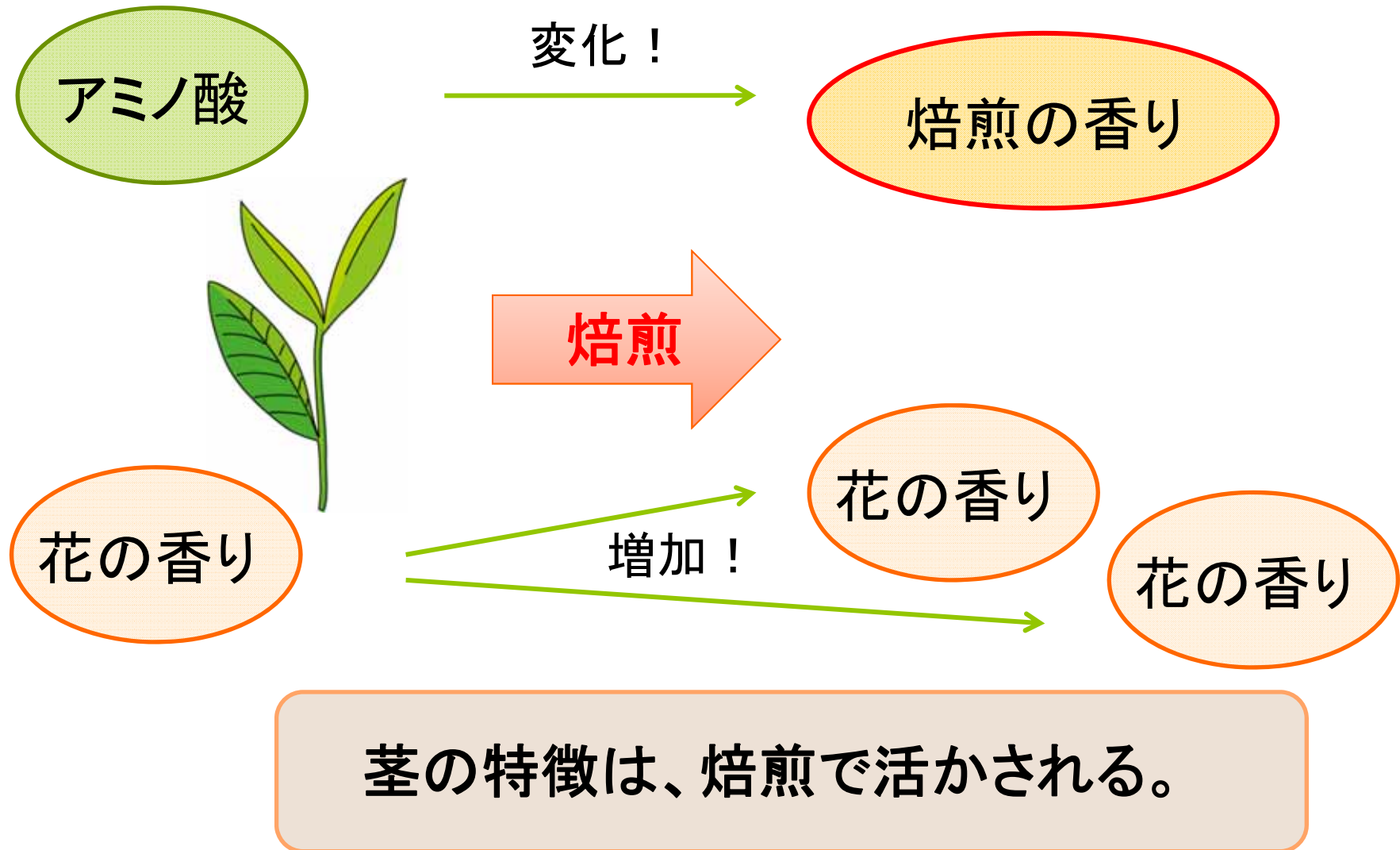


茎ほうじ茶は葉ほうじ茶より、

焙煎の香り成分: 約1.5倍
(ピラジン類)

花の香り成分: 約4倍
(ゲラニオール、リナロール)

焙煎の効果



棒茶の魅力

焙煎の香り成分が豊富
(葉の約1.5倍)



花の香り成分が豊富
(葉の約4倍)

アミノ酸(テアニン)が豊富
(葉の約2倍)

渋みが少ない

各成分の機能性(報告例)

ピラジン類(焙煎の香り成分)

- ・リラックス効果
- ・血液流動性向上作用

ゲラニオール、リナロール(花の香り成分)

- ・リラックス効果

テアニン

- ・リラックス効果
- ・渋み抑制効果



棒茶の機能性についても、今後検討する。

棒茶の魅力

茶茎を焙じた棒茶は、科学的にも個性的である。
また、棒茶の文化は石川県に根付いており、
各お茶屋さんが、棒茶の個性を競っている。

 **加賀茶研究会・会員**

<p>株式会社 丸八製茶場 加賀市動橋町夕1番8 TEL 0761-74-1557</p> 	<p>松風園茶舗 金沢市長土堀1丁目 TEL 076-261-5879</p> 	<p>お茶のあずま園 金沢市百坂リ109 TEL 076-258-4000</p> 
<p>上林金沢茶舗 金沢市下新町1番7号 TEL 076-231-0390</p> 	<p>小林屋茶舗 金沢市幸町30-1 TEL 076-231-4919</p> 	<p>野田屋茶店 金沢市豎町3 TEL 076-221-0982</p> 
<p>中嶋茶舗 白山市中町23 TEL 076-231-0390</p> 	<p>天野茶店 金沢市東山1-3-35 TEL 076-252-3489</p> 	<p>福田茶舗 白山市東一番町41 TEL 0120-021-075</p> 

一本セミナー紹介パンフレットより